



12月18日(火)

## とてもし強い

聖書朗読 詩篇 33編

救いは、御座にある私たちの神にあり、小羊にある。 黙示録 7:10

どうにもならない逆境に遭遇したことがありますか？ 自分には手に負えない問題とか。大きな(小さな)問題に直面した時に、私たちがすべきことは、神を信じることです。ですが、そうわかっている、神を信じるのが難しくなる時があります。

詩篇 33:16の前半で、軍の大きさは勝利には関係ないと言っています。ギデオンや大軍のミデヤン連合軍と戦ったわずか300人の兵士たちのことを覚えていますか？ 神はギデオンのもとにおられたので、軍の大きさは全く関係なかったのです。

そして後半では、勇者の力の強さについて言及しています。ダビデとゴリアテを覚えていますか？ ゴリアテの強さは、神がお選びになった僕にはとるに足りないものでした。

主が私たちの味方であるのなら、私たちが十分に持っているか、十分に強いかを心配する必要はありません。主は私たちの戦いに勝つには完全に十分です。私たちは主を敬い、主に希望を置き続けるだけでよいのです。主は私たちに約束してくださっておられます。『わたしは決してあなたを離れず、また、あなたを捨てない。』(ヘブル13:5)。

神は私たちを見守ってくださいとおられます。神は、日々困難に直面している私たちの助け手であり、守り手であられます。

神を信じ、私たちのために神がしてくださったこと、これからして下さることを喜びます。

讃美歌 481

祈り 愛なる主よ。この世の試みや試練に直面しているとき、戦うことを投げ出さないようお助けください。あなた様を頼り、あなた様を信じさせてください。そしてあなた様の愛の中で私たちに休ませてください。

ジーナ・D・ゴードン

サウスカロライナ州 マレルスインレット

12月19日(水)

## 重要なのは經理のことだけ

聖書朗読 詩篇 49編

私はこう確信しています。死も、いのちも、御使いも、権威ある者も、今あるものも、後に来るものも、力ある者も、高さも、深さも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません。 ローマ 8:38~39

この世界は、けがれなく無欲に生きているか、卑劣で自己中心的に生きているかにかかわらず、他の誰よりも多くのドル、ディナール、ペソ、ポンド、シケル、シリング、フラン、マルク、ルピーや円を持っている人のことを成功者と言います。お金持ちの人生とお金のない人の人生は、彼らの心臓が止まり、魂が天にあげられ寸前まで全く異なります。

億万長者の墓につもろうと、無縁仏の墓につもろうともほこりはほこりです。かつてはお金持ちでも今はただの死人です。かつては貧乏でも今はただの死人です。二人の集計表の最後は同じです。なぜなら、墓に持っていけるお金は0円だからです。この世の宝は重要ではありません。天の宝が重要なのです。我が創造主のうちに生きる人生を信じている者は死においても創造主を信じ、そして詩篇作者とともに言います。『神は私のたましいをよみの手から買い戻される。神が私を受け入れてくださるからだ。』(15節)

讃美歌 276

祈り 生涯あなた様を褒めたたえます！あなた様の愛、喜び、恵みは私たちを包み、私たちのすべての時間を支えてくださっておられます。ですから、私たちはこの先の人生でもあなた様を信じ続けます。

イエス様の御名によって。アーメン。

カーティス・K・シェルバーン  
テキサス州 マルシュー

12月20日(木)

## 髪の毛の数でさえ

聖書朗読 詩篇 56:1~9

神が私たちの味方であるなら、だれが私たちに敵対できるでしょう。

ローマ 8:31

前回あなたが泣いたとき、あなたは涙の数を数えましたか？ 何度も寝返りを打ち、心配で眠れない夜をすごしたことでしょ。

ラザロの墓でイエス様がマリアとマルタと一緒に泣いたとき、その涙は拭い去られ、ほんの束の間だったですよ。その涙の数は記されてもなく、覚えられてもいませんでした。

皆さんもご存じのように、イエス様は私たちの髪の毛さえもみな数えておられます(ルカ 12:7)。しかし、聖霊はイエス様の祖先であるダビデにより深いものを求めさせました。神は、私の迷いをもしるしておられます。『どうか私の涙を、あなたの皮袋にたくわえてください。それはあなたの書には、ないのでしょか。』(8節)。

主を信じているダビデはこう祈りました。『神が私の味方であることを私は知っています。』(9節)。ダビデの涙と嘆きに対する神の優しい心遣いは、ダビデに敵は「退く」ことを確信させました。

攻撃がいつまでも、一日中(1,2,5節) 続くように感じたときや、毎日が問題であふれかえっているときは、みことばが効かないときがあります。そんなとき私たちができる唯一で最高のお祈りは、私たちのために御霊による言いようもない深い呻きかもしれません(ローマ 8:26)。そして、私たちが流したすべての涙を数え覚えてくださる私たちのよきお父様は、私たちの近くにいてくださり、そして、私たちの心を聞いて下さっておられます。

讚美歌 525

祈り 親愛なる主。試みにあっているとき、恐怖に襲われているとき、あなた様は私たちのためにいてくださいます。あなた様のみことばや涙で私はあなた様を信じることが出来ます。

イエス様の御名によって。アーメン。

ジャン・K・シェルバーン  
テキサス州 アビリン

12月21日(金)

## 失望

聖書朗読 詩篇 61編

主は私の助け手です。私は恐れません。人間が、私に対して何ができません。

ヘブル 13:6

スペースシャトルが上昇しているとき、いくつかのシナリオがありました。初期の段階で二つのメインエンジンを失ったとき、「発射場に戻る」ことが求められました。もはや軌道に達することは不可能だったので、ミッションは飛行士たちを救うことに変わりました。非常に困難な状況下では、通常では考えられないような突飛な手段を講じる必要がありました。飛行士たちは無事に地上に帰るには彼らの制御不能になった宇宙船を信じるしかありませんでした。

詩篇作者は限界でした。彼の状況はあまりにひどく、神が遠くに感じられました。失望し、疲れ果てた彼は神に泣いて助けを求めました。彼は身の安全を確保できませんでした。神はこの取り乱した作者を安全な場所へ導かなければなりませんでした。このような状況の中、作者は神が彼を救い出してくれることを信じて疑いませんでした。神がおられる安全な場に生きることは作者の究極の願いでした。

神を遠くに感じてしまう時があります。心配事は私たちを疲弊させます。人生の荒波は私を飲み込みます。罪は内なる混乱をもたらします。私たちはどうにか乗り越えようとしませんが、だいたい失敗しています。神を信じて助けてもらうことを学びましょう！ 私たちは神と常につながっています。私たちがどうしようもなく神を必要としているとき、泣いて神を求め、神は私たちの助け手であることを知って慰めを得ることができます！

讚美歌 369

祈り 聖なる神。人生のあらゆる面で、あなた様を信じ、あなた様を頼ることを学べるようお助けください。もしあなた様から離れてしまっているとき、どうか教えてください。

イエス様の御名によって。アーメン。

マイケル・オニール  
フロリダ州 タイタスビル

12月22日 (土)

## 心配に押しつぶされないように

聖書朗読 詩篇 91編

主は羊飼いのように、その群れを飼ひ、御腕に子羊を引き寄せ、ふところに抱き、乳を飲ませる羊を優しく導く。 イザヤ 40:11

大蛇のように、一度肩に乗せてしまったら、心配はすぐに私たちの体に巻き付き、締め付けるでしょう。平安は人生から押し出されます。満足感は先細ります。恐怖が風となって炎を燃え上がらせます。心配が私たちを霧の中に連れ込みます。小さなコブが山のように見えます。希望が絶望となります。

イエス様は、私たちが一人で重荷を背負い、その重さで押しつぶされそうになっていることをご存じでられます。イエス様はその重荷を代わりにかっいでくださるため、私たちをお呼びになられています。『すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。わたしは心優しく、へりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすればたましいの安らぎが来ます。わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからです。』(マタイ 11:28~30)

『乏しいからこう言うものではありません。私は、どんな境遇にあっても満ち足りることを学びました。私は、貧しさの中にある道も知っており、豊かさの中にある道を知っています。また、飽くことにも飢えることにも、富むことにも乏しいことにも、あらゆる境遇に対処する秘訣を心得ています。私は、私を強くしてくださる方によって、どんなことでもできるのです。』(ピリピ 4:11~13)

讃美歌 404

祈り 親愛なる神。私たちの重荷を軽くしてください。私たちの代わりに重荷を背負って、私たちに休息を与えてくださる主に助けを求めます。あなた様の強さのうちにすべてを行うことができるよう助けてくださるあなた様を信じます。

イエス様の御名によって。アーメン。

ダニー・マイズ  
テキサス州 アマリロ

12月23日(日)

## 応答の神

聖書朗読 詩篇 120編

主を呼び求める者すべて、まことをもって主を呼び求める者すべてに主は近くあられる。 詩篇 145:18

人生は厄介です。

詩篇120編の作者にはそうだったのでしょ。彼は非常に厄介な人たちに囲まれていたようです。彼らはペテン師です。作者は平和を望みましたが、彼らは争いを望みました。あなただったらどうしますか？

この詩篇作者は何をしたのでしょうか？ フェイスブックやツイッターで怒りやフラストレーションを発散させましたか？ 彼らに激しい批判のメールを送ったのでしょうか？ 復讐を計画したのでしょうか？ いいえ、彼は神を求めたのです。

彼が神を求めたことにあなたは驚かないかもしれません。私たちの多くが、失望の中、大声で神に助けを求めたことがあるでしょう。ですからこれは驚くことではありません。驚くべきことはこれです。神がお応えになられたということです。

我が神は、応答の神です。我が神は人格を持った神です。イエス・キリストを通して、私たちは万物の神に近づき、まことをもって主を呼び求める者すべてに、主は近くにおられます。神は、子どもたちの声を聴き、困難な中にいるかれらに語り掛けることを切望している愛情深い神です。

もしあなたが問題を抱えているのなら、もしあなたがひどく苦しんでいるのなら、大声で神を求め、そして神のお応えに耳を澄ませましょう。

讃美歌 第二編 83

祈り お父様。あなた様を求めて叫んだ声が聞き入れられ、そして応えられることを知ることはなんという喜びなのでしょう。あなた様の声を聴く必要があります。直接私たちに語り掛けてください。そしてみことばの光で私たちを導いてください。

イエス様の御名によって。アーメン。

チャック・ブライアント  
テキサス州 ラボック